2 900000 101715

131000JYFMFAQ01 01-01 EH25

JY シリーズ

タカギ　混合栓施工説明書

takagi

蛇口一体型浄水器　みず工房 クローレ

■施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
■ここに示した「安全上のご注意」は状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。
　いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
■施工完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、
　お手入れの仕方を説明してください。また、取扱説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。
■給排水管工事は専門業者でお願い致します。

安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただく前に

施工前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。

絵表示について　製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠**警告**　この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定されている内容を示しています。

⚠**注意**　この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定されている内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠記号は、禁止行為であることをお知らせするものです。図の中や近くに具体的な「禁止」内容を示しています。

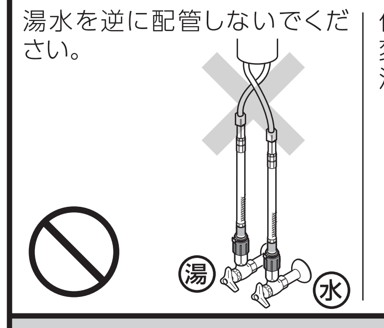
❗記号は、必ず実行していただくものです。図の中や近くに具体的な「強制」内容を示しています。

⚠警告

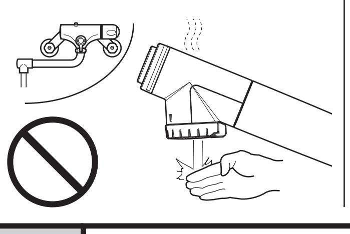
・本品は屋内設置用です。屋外では使用しないでください。
・必ず製品に付属の部品を使用して施工してください。
・修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解しないでください。
・この説明書に記載された項目以外は分解・改造しないでください。

やけどをするおそれがあります

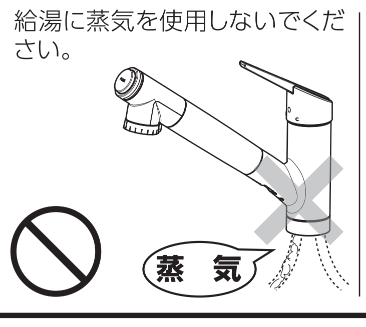
湯水を逆に配管しないでください。



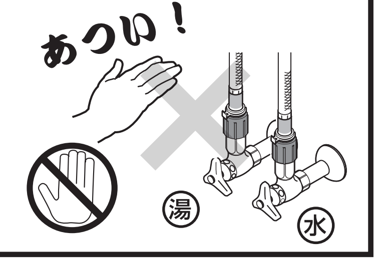
他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯を使用中に湯温が急上昇することがあります。



給湯に蒸気を使用しないでください。

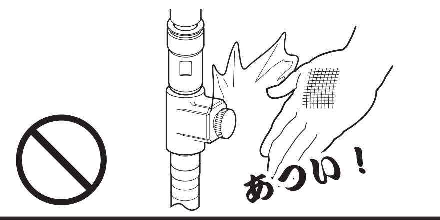


湯側の配管には手を触れないでください。



やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

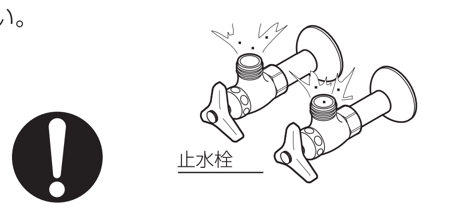
水抜き継手(寒冷地仕様のみ)は水抜き以外の目的で開けないでください。また、湯側の水抜きをする場合は、事前に湯側で吐水して、高温の湯が出ないことを確認してから水抜きを行ってください。



⚠注意

水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

新設の場合、水栓を取り付ける前に、給水側・給湯側配管内のゴミなどを完全に洗い流してください。



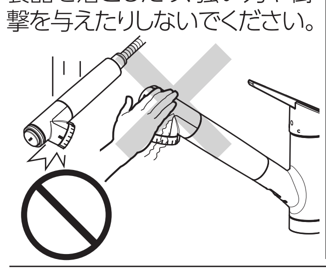
故障の原因になります

給湯温度は60℃以下で使用してください。60℃を超える高温でご使用になるとカートリッジが破損し、浄水器としての性能を維持できなくなる場合があります。

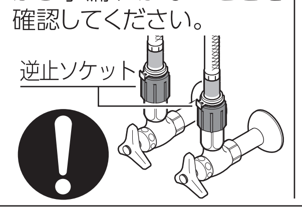
⚠注意

水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

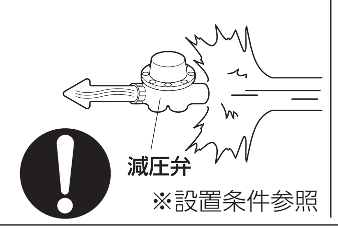
製品を落としたり、強い力や衝撃を与えたりしないでください。



止水栓に逆止ソケットを取り付けた際、接続部などから水漏れがないことを確認してください。



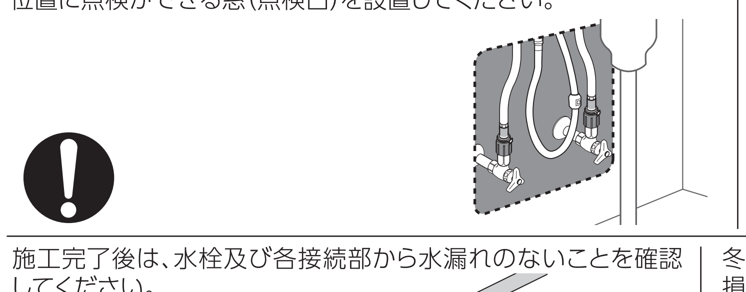
高水圧地区では減圧弁を設置してください。



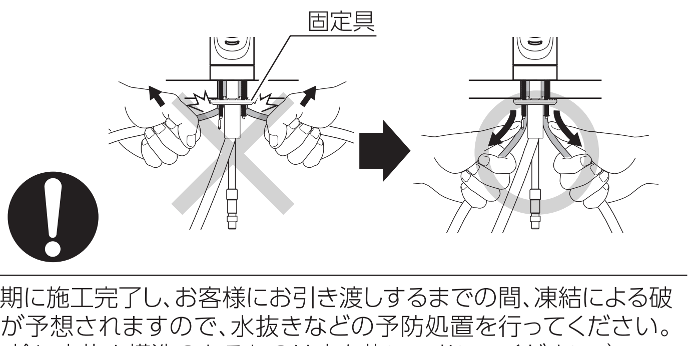
※設置条件参照

水栓及び各接続部は浮きや緩みがないように、しっかり固定してください。各接続部が確実に固定されていないと水栓が傾いたり、水漏れが発生するおそれがあります。

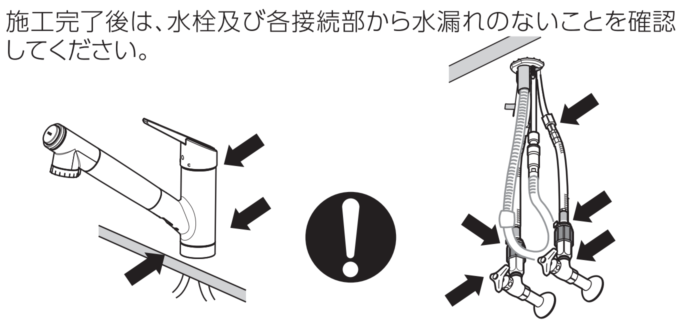
定期的に止水栓取り付け箇所や給水管、給湯管との接続箇所の点検がされていないと、水量調節や万一の漏水発生時に発見が遅れるおそれがあります。各接続箇所の確認が行なえない場合は、確認しやすい位置に点検ができる窓(点検口)を設置してください。



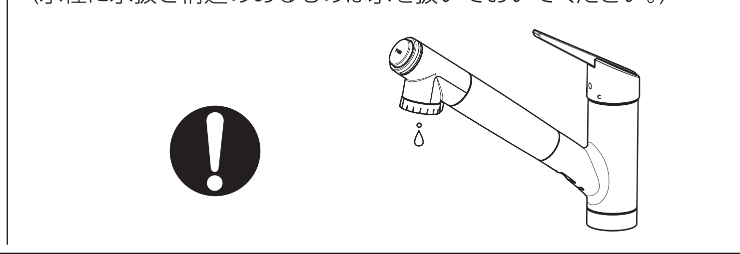
銅管を曲げる際は、銅管が固定具（金属部分）付近で折れ曲がらないよう指を添えるなどしてゆるやかに曲げてください。



施工完了後は、水栓及び各接続部から水漏れのないことを確認してください。

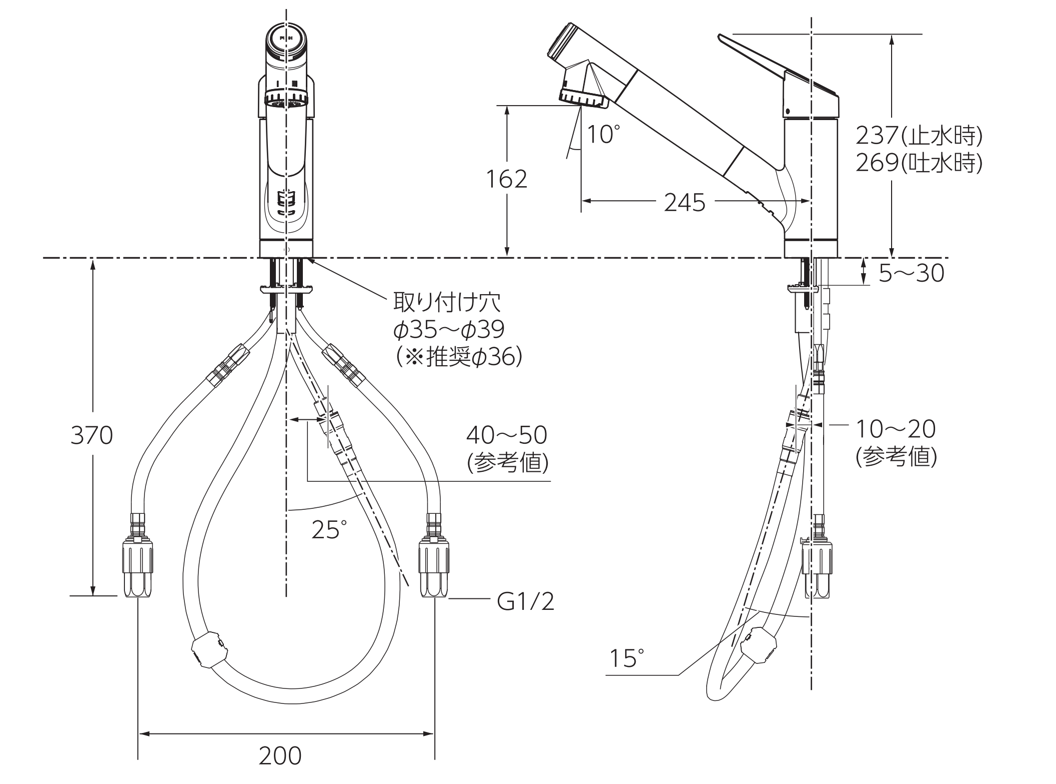


冬期に施工完了し、お客様にお引き渡しするまでの間、凍結による破損が予想されますので、水抜きなどの予防処置を行ってください。(水栓に水抜き構造のあるものは水を抜いておいてください。)



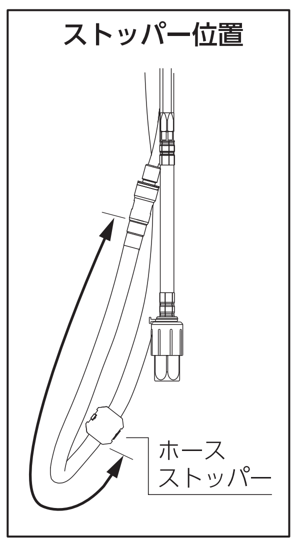
外観寸法図

単位:㎜



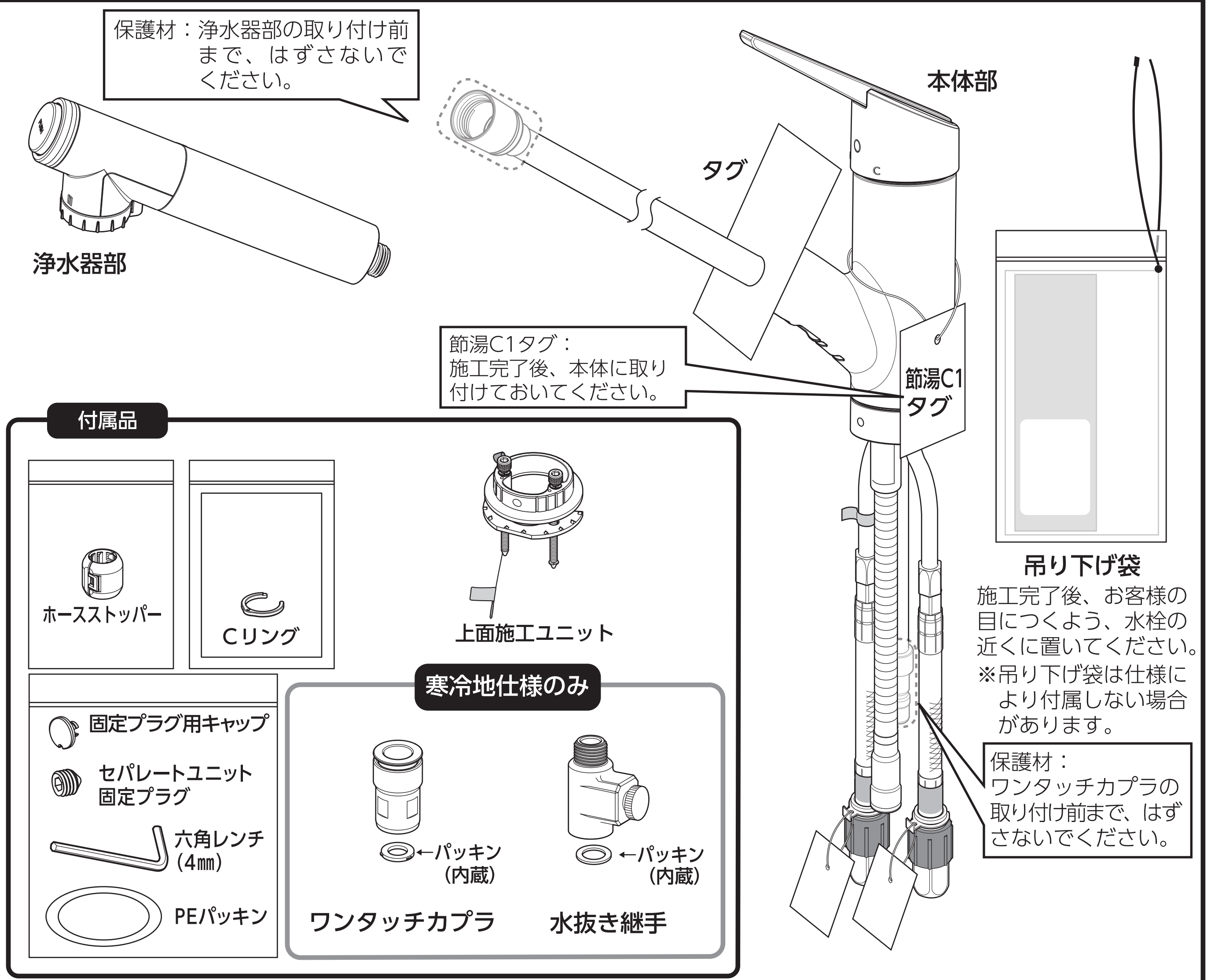
	フレキシブルホースの長さ	ストッパー位置
通常仕様	940㎜	410㎜
寒冷地仕様	940㎜	400㎜

ストッパー位置



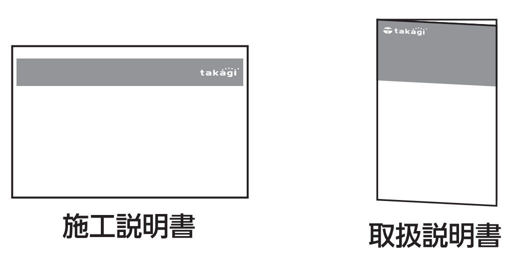
部品の確認

水栓・付属品



吊り下げ袋
施工完了後、お客様の目につくよう、水栓の近くに置いてください。
※吊り下げ袋は仕様により付属しない場合があります。

その他



準備する部品

水量調整及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
※ネジ規格はG1/2です。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

設置条件

■水圧条件	■給水・給湯圧力範囲は動水圧0.05MPa～静水圧0.75MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。**推奨圧力は静水圧0.2MPa～0.3MPa**です。給水圧力が**静水圧0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で静水圧0.2MPa程度の適正圧力に減圧**してください。但し、給湯圧力は給水圧より**高くならないように設定**してください。 ■給水・給湯配管は最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

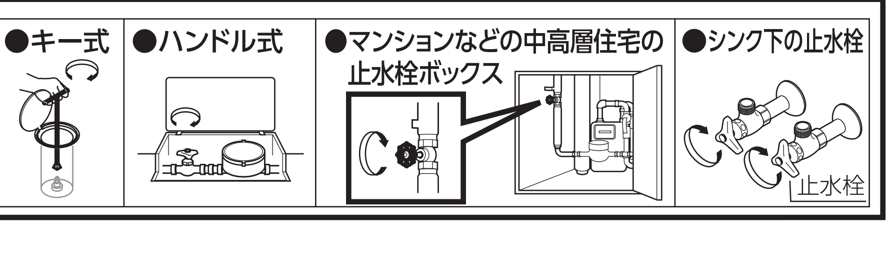
※給水圧力と給湯圧力は圧力差が少ない程、温度調節が容易になります。
※水道水の飲用基準に合格した水をお使いください。温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

1.施工方法

※新設の場合は「1-❷上面施工ユニットの取り付け」に進んでください。

1-❶水道配管の止水栓を閉め、水抜きを行う

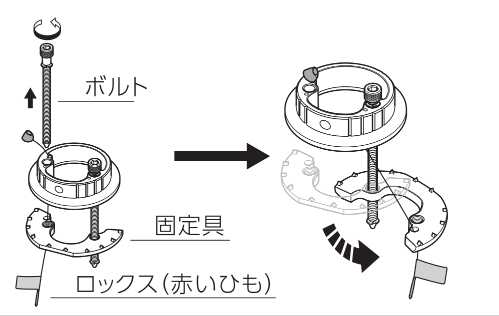
配管部の止水栓などにより通水を止めて、水抜栓により水抜きを行います。



1-❷上面施工ユニットの取り付け

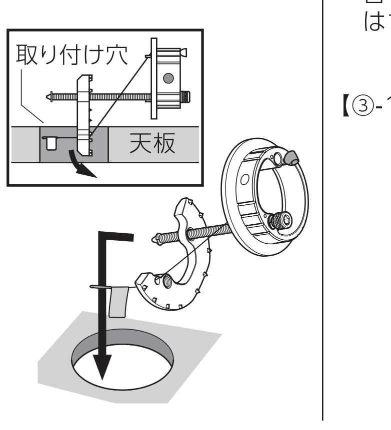
取り付け穴に上面施工ユニットを差し込み、固定します。

①ロックス（赤いひも）側のボルトをはずし、固定具を180°回転させます。

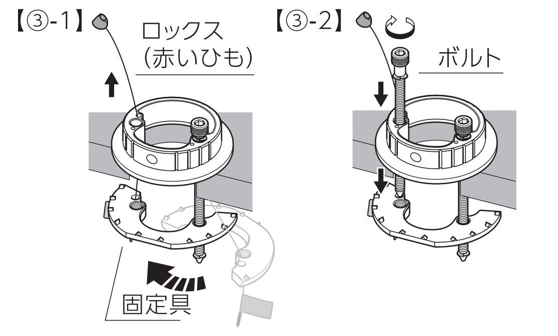


⚠**注意**　ロックス（赤いひも）は切らないでください。その後の施工ができなくなります。

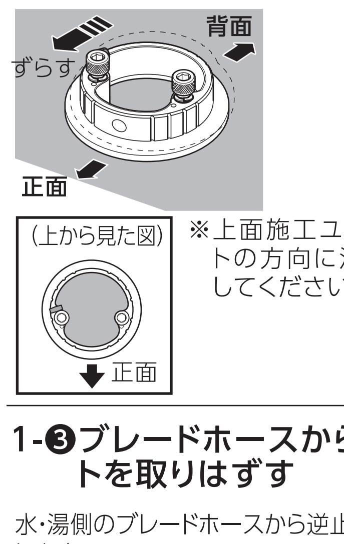
②取り付け穴にいれます。



③ロックス（赤いひも）を引っ張り、固定具の位置を合わせます。【③-1】
はずしたボルトを挿入し、軽く締め込みます。【③-2】

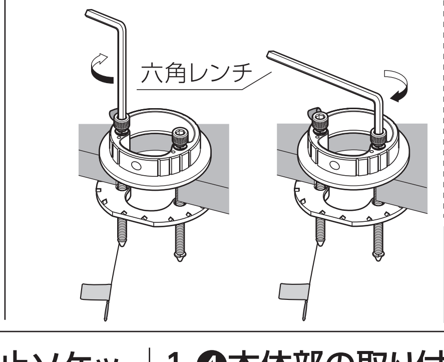


④取り付け穴の手前に当たるまでずらして芯を合わせてください。

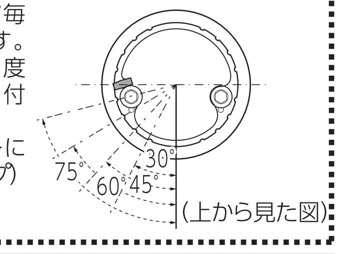


※上面施工ユニットの方向に注意してください。

⑤上面施工ユニットを手前に押し当てた状態で、六角レンチ（4㎜）でボルトを左右均等に締めます。【⑤-1】
さらに六角レンチを横にして、ボルトを1回転増し締めし、上面施工ユニットを確実に固定します。【⑤-2】



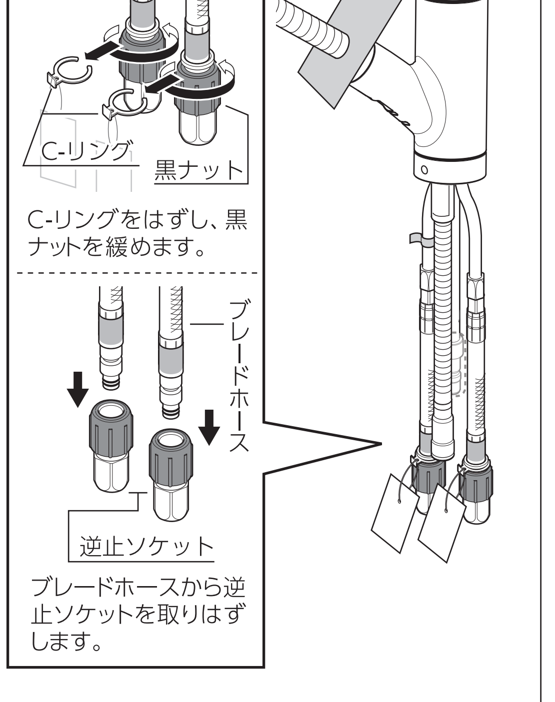
※台座部に30°から15°毎にミゾをつけています。このミゾを目安に角度をふって蛇口を取り付けることができます。(キッチンのコーナーに取り付け穴があるタイプ)



⚠**注意**　上面施工ユニットを正しく取り付けないと本体部の固定強度が低下し、本体部にガタが発生する不具合の原因となります。

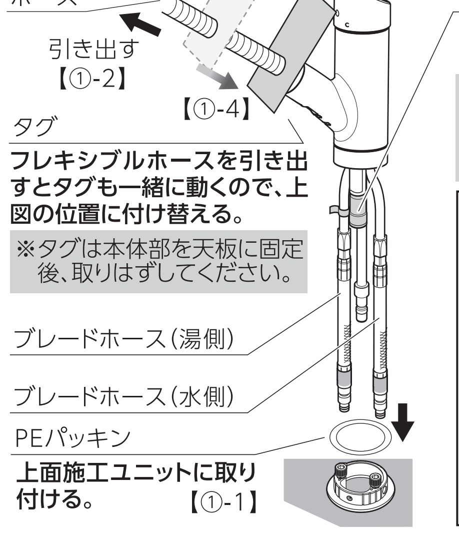
1-❸ブレードホースから逆止ソケットを取りはずす

水・湯側のブレードホースから逆止ソケットを取りはずします。



1-❹本体部の取り付け

①上面施工ユニットにPEパッキンを取り付けます【①-1】。その後、フレキシブルホースを引き出し【①-2】、ワンタッチカプラを下図の位置にします【①-3】。また、ワンタッチカプラの位置を維持するため、タグを下図の位置に付け替えておきます【①-4】。



フレキシブルホースを引き出すとタグも一緒に動くので、上図の位置に付け替える。

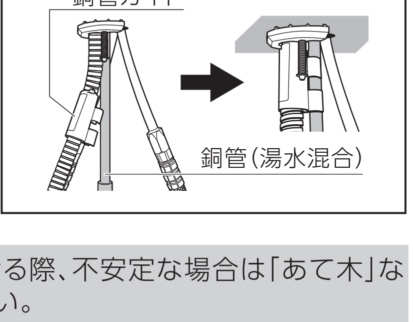
※タグは本体部を天板に固定後、取りはずしてください。

上面施工ユニットに取り付ける。【①-1】

フレキシブルホースを引き出して、ワンタッチカプラを左図の位置にする【①-3】。

※上面施工ユニットに本体部を差し込む際、ワンタッチカプラが左図の位置にないと、上面施工ユニットに通らず施工できません。

●施工前や、施工途中に銅管ガイドがはずれた場合は、**銅管（湯水混合）に取り付けてください。**

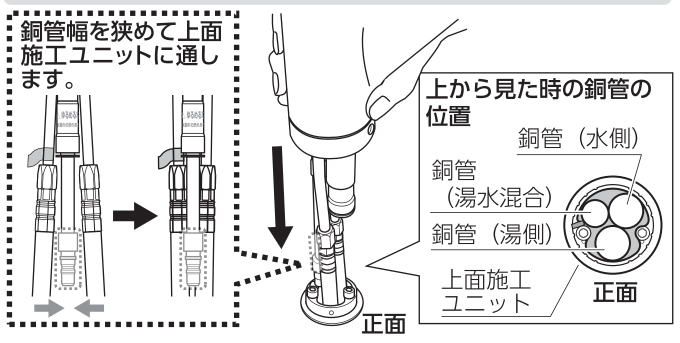


⚠**注意**　天板に本体部を取り付ける際、不安定な場合は「あて木」などで補強を行ってください。

※寒冷地仕様の場合
ワンタッチカプラはフレキシブルホースに接続されていません。接続方法は「1-❼の寒冷地仕様の場合」をご参照ください。

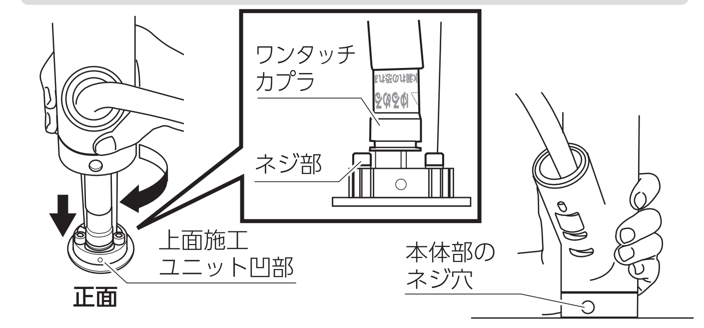
②本体部の向きを上面施工ユニット正面から見て横向きになっている状態で上面施工ユニットに差し込みます。(※この時湯/水両方の銅管を内向きに束ねるように幅を狭めてから差し込みます。)

<ポイント> ①上面施工ユニットに通りやすいように銅管を狭める。
②正面から見て、本体部が横を向いた状態にして差し込む。



③ワンタッチカプラが上面施工ユニットのネジ部の位置まできた時、本体部の向きを正面に戻し、本体部のネジ穴と上面施工ユニットの凹部を合わせて最後まで差し込みます。

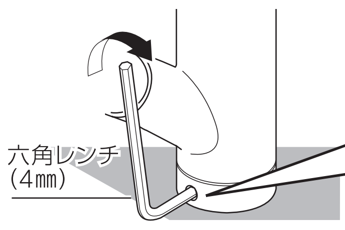
<ポイント> ワンタッチカプラが上面施工ユニットのネジ部の位置まできた時、本体部の向きを正面に戻し、最後まで差し込む。



④スパウトホルダー及びレバーハンドルが左右均等に動く位置を正面に向けて、セパレートユニット固定プラグで本体部を固定します。**本体部に浮きがないよう注意してください。**（微調整の際は、セパレートユニット固定プラグを少し緩め調整してください。調整後は増し締めしてください。）

本体部取り付け後に、スパウトホルダーを下に下げてください。

タグは天板に本体部固定後、取りはずしてください。



セパレートユニット固定プラグ

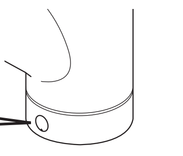
上面施工ユニットに本体部をかぶせた後、ネジ穴にセパレートユニット固定プラグを六角レンチ（4㎜）で締め込んで、本体部を固定してください。

⚠注意 **破損の原因となります**
セパレートユニット固定プラグを締め込んだ状態で向きの調整をしないでください。

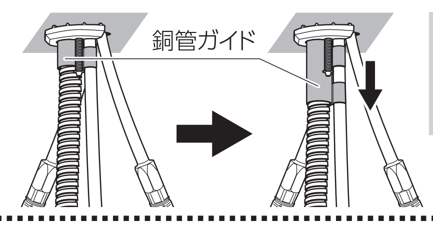
⑤セパレートユニット固定プラグで本体部を固定した後、（**本体部に浮きがないよう注意してください。**）固定プラグ用キャップをハメ込みます。その後、フレキシブルホースを下に引き出してください。

固定プラグ用キャップ

本体部を固定した後、固定プラグ用キャップをハメ込んでください。



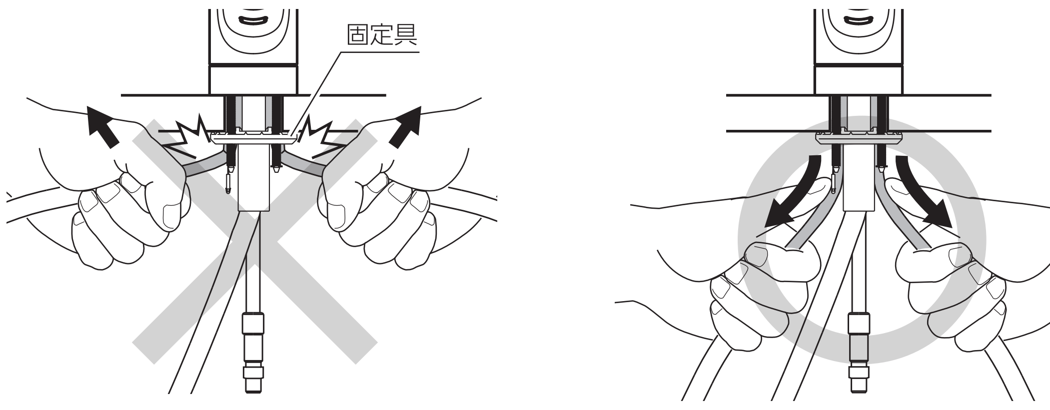
※本体部を固定した後、銅管ガイドを図のように止まるところまで下に引っ張ってください。



※銅管ガイドは銅管から取りはずさないでください。

銅管を曲げる際の注意点

⚠注意 **水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります**
銅管を曲げる際は、銅管が固定具（金属部分）付近で折れ曲がらないよう指を添えるなどしてゆるやかに曲げてください。



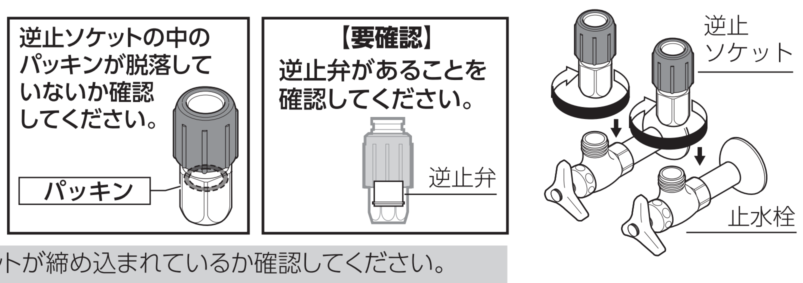
1-❺止水栓に逆止ソケットを取り付ける

止水栓に逆止ソケットを取り付けます。

※逆止ソケットは平行ネジ（Gネジ）です。
※止水栓がテーパーネジ(Rネジ)の場合は、テーパーネジ(Rネジ)用アダプターを使用してください。

逆止ソケットの中のパッキンが脱落していないか確認してください。

【要確認】
逆止弁があることを確認してください。



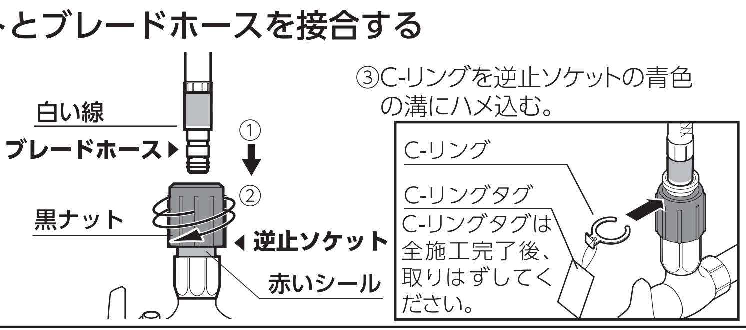
⚠注意 **水漏れのおそれがあります**
平行ネジにはシールテープを巻かないでください。
止水栓に逆止ソケットを取り付けた際、充分に逆止ソケットが締め込まれているか確認してください。

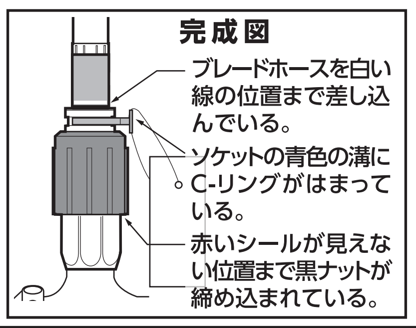
1-❻逆止ソケットとブレードホースを接合する

①ブレードホースを白い線までソケットに差し込む。

②逆止ソケットの赤いシールが見えなくなるまで黒ナットを締める。

③C-リングを逆止ソケットの青色の溝にハメ込む。

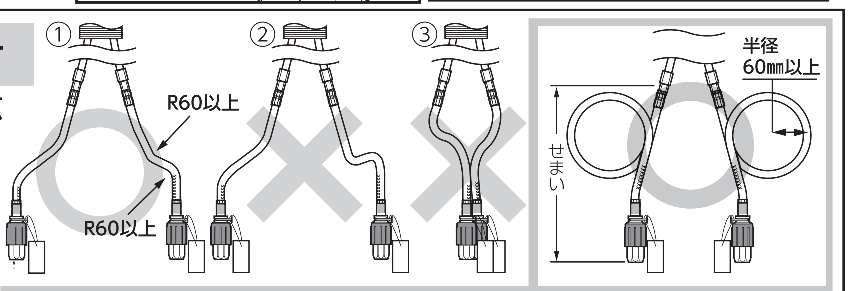




⚠注意 **水が出なくなるおそれがあります**

ブレードホース(湯側・水側)の施工上の注意点

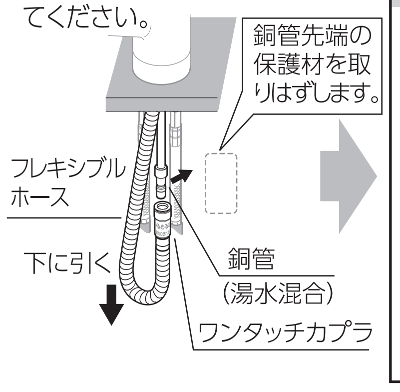
①ブレードホースの**折れにご注意**ください。ブレードホースを最小曲げ半径(60㎜)よりも小さく曲げて使用しますと、ブレードホースが折れることがあり、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。施工時には最小曲げ半径(60㎜)よりも小さく曲げないように、ご注意ください。
②ブレードホース端面から**極端に屈曲して、施工しない**でください。
③ブレードホース同士の**不要な接触は避けて**ください。外部補強層の摩耗による外傷でブレードホース性能劣化の可能性があります。



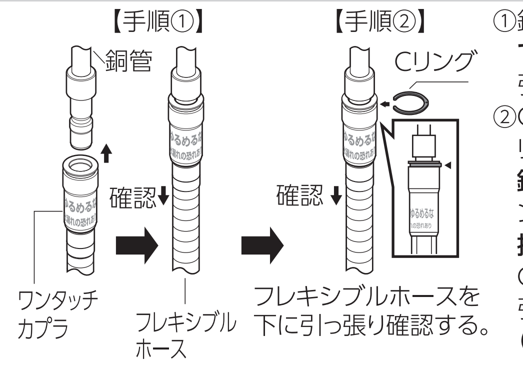
取り付けの間隔がせまく、標準のブレードホースが屈曲してしまう場合、**400㎜タイプ**又は**580㎜タイプ**のブレードホースを用いて屈曲しないよう、図の様に取り付けてください。

1-❼フレキシブルホースを吐水口側の銅管(湯水混合)に取り付ける

フレキシブルホースをシンク下に引き出し銅管(湯水混合)に接続してください。

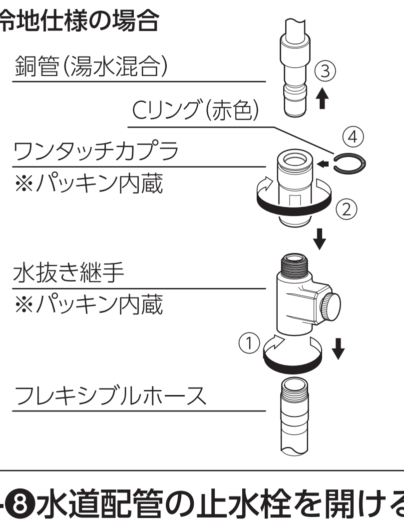


⚠注意 **漏水の原因となります**
必ず【手順①】～【手順②】に従ってCリングをワンタッチカプラへ取り付けてください。



①銅管にワンタッチカプラを**カチッと音がするまで確実に差し込んだ後、**フレキシブルホースを引っ張ってはずれないことを確認します。
②Cリングをワンタッチカプラに取り付けます。Cリングの取り付けは、**必ずワンタッチカプラと銅管を接続した後**に行ってください。先にCリングを取り付けると**ワンタッチカプラを銅管へ接続できません。**
Cリングを取り付けた後、フレキシブルホースを引っ張ってはずれないことを再度確認します。（接続が不十分な場合、**漏水の原因**となります。）

寒冷地仕様の場合



①フレキシブルホースに**水抜き継手を回して**取り付ける。

水抜き継手の中のパッキンが脱落していないか確認ください。
パッキン

②水抜き継手にワンタッチカプラを取り付ける。

ワンタッチカプラの中のパッキンが脱落していないか確認ください。
パッキン

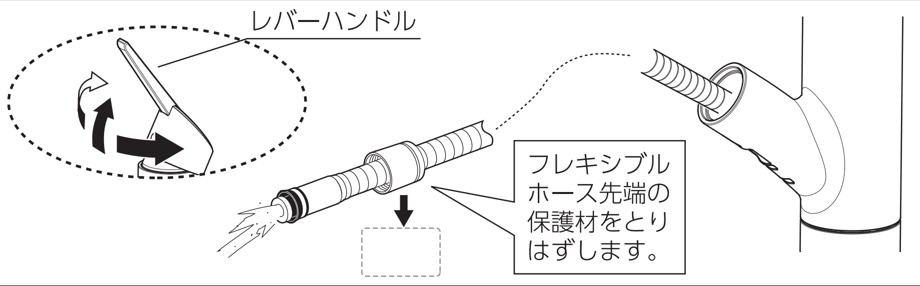
③銅管にワンタッチカプラを**カチッと音がするまで確実に差し込み引っ張ってはずれないことを確認する。**
④Cリング取り付け後、フレキシブルホースを**引っ張ってはずれないことを確認する。**

1-❽水道配管の止水栓を開ける

レバーハンドルが閉じていることを確認してから、配管部およびシンク下の止水栓（湯側・水側）を開けます。

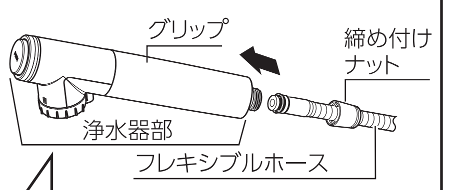
1-❾浄水器部を取り付ける前に給水管内のゴミなどを洗い流す

レバーハンドルを上げて左右に振り、給水・給湯管内のゴミなどを完全に洗い流してください。その後レバーハンドルを下げて閉じてください。

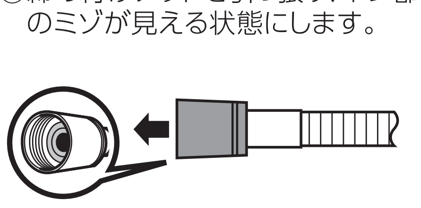


⚠注意
吐水が飛び散らないよう注意してください。

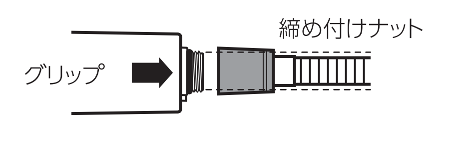
1-❿浄水器部を取り付ける

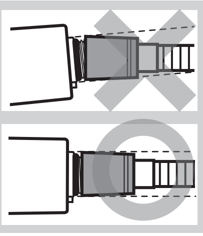


①締め付けナットを引っ張り、ネジ部のミゾが見える状態にします。



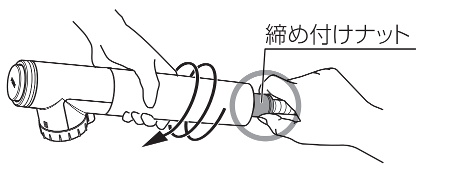
②浄水器部のグリップを持って締め付けナットにまっすぐ入れます。





⚠注意
浄水器部は斜めに取り付けないでください。浄水器部側のネジ山が削れて故障や水漏れの原因になります。

③締め付けナットを固定して浄水器部のグリップを回転させて取り付けます。



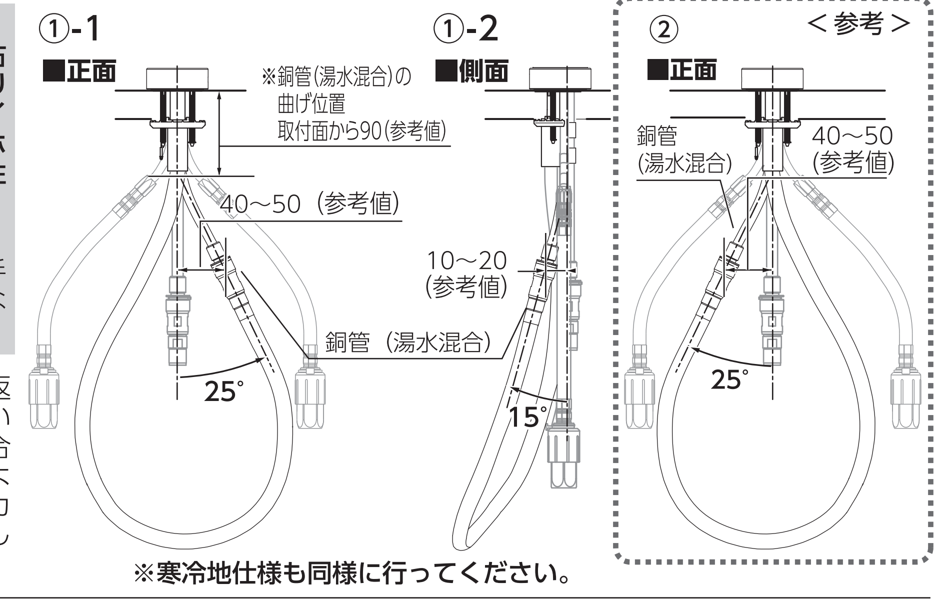
⚠注意
フレキシブルホースを回転させて取り付けるとホースがねじれ、故障の原因になります。

1-⓫銅管(湯水混合)を曲げて、フレキシブルホースが止水栓に接触しないようにする

①-1
銅管（湯水混合）を正面からみて25°右に曲げます。※銅管を曲げる時は、折り曲げ位置にご注意ください。銅管ガイドが銅管からはずれ、フレキシブルホースがスムーズに取り扱えない可能性があります。

①-2
銅管（湯水混合）を正面からみて15°手前に曲げ、止水栓や他部位に接触しないようにします。

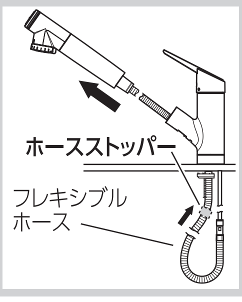
フレキシブルホースの出し入れを繰り返して、止水栓および他部位に干渉しないことを確認してください。干渉する場合は、ワンタッチカプラをはずし、②のように銅管を左に曲げた後、ワンタッチカプラを接続しなおして微調整し、干渉しないようにしてください。



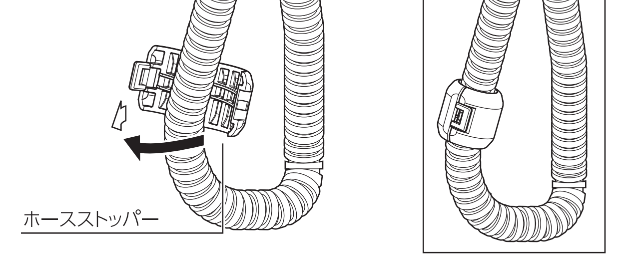
※寒冷地仕様も同様に行ってください。

1-⓬ホースストッパーを取り付ける

【取り付け上の注意】
●**浄水器の引き出しすぎにより、フレキシブルホースが元の位置に戻らない可能性があります。フレキシブルホースが元の位置に戻るように、引き出し長さをホースストッパーで調節してください。**



フレキシブルホースをはさみ込みます。



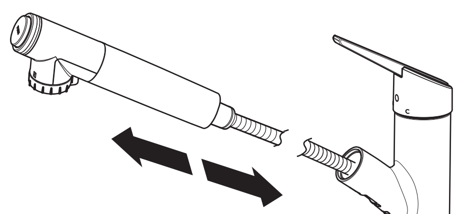
1-⓭収納性の確認

取り付け後にフレキシブルホースを引き出し、収納を数回行い、配管がフレキシブルホースと干渉して引っかからないことを確認してください。

2.取り付けが終わったら

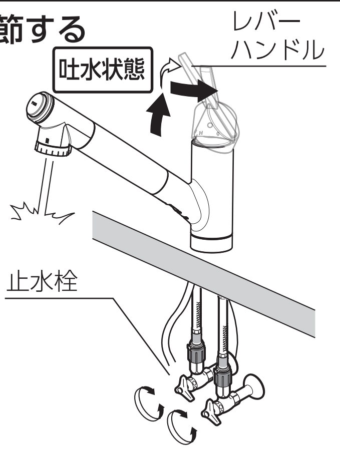
2-❶引き出し・収納がスムーズに行えるか確認する

浄水器部の引き出し、収納を数回行い、正常に戻ることを確認してください。フレキシブルホースがスムーズに出し入れできない場合は、給水・給湯の銅管部を左右に広げてフレキシブルホースの通る空間を確保してください。



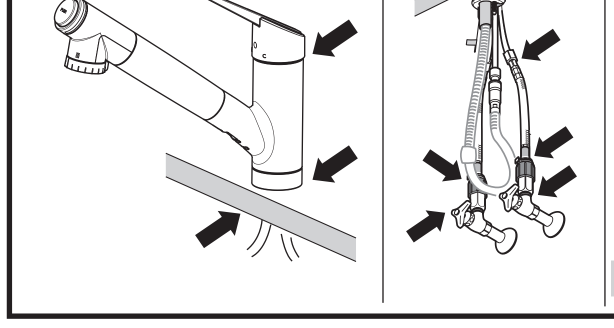
2-❷止水栓で吐水量を調節する

使用時、水側全開および湯側全開のときの吐水量が最適となるように水側・湯側の2つの止水栓を調節してください。



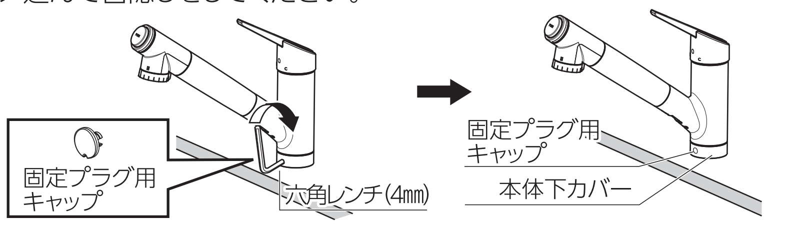
2-❸各接続部の水漏れがないかをチェックする

施工完了後は、配管接続部、逆止ソケットおよび水栓から水漏れのないことを確認してください。



2-❹本体部がガタついていないかをチェックする

施工完了後、本体部にガタつきがある場合は、固定プラグ用キャップをはずし、六角レンチ（4㎜）でセパレートユニット固定プラグを増し締めしてください。増し締めした後、本体下カバーに固定プラグ用キャップをハメ込んで目隠しをしてください。



施工完了後、節湯C1タグは本体に取り付けておいてください。

免責事項

以下の事項にて発生した損失や損害に対して株式会社タカギは一切責任を負うものではないことをあらかじめご了承ください。ご利用はお客様の責任で行っていただきますようお願いいたします。

1. 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合。
2. 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品本体以外の不具合に起因する製品の不具合。
3. 電気・給水などの供給で指定された以外の環境に起因する故障および損傷。
4. 自然現象や住環境に起因する結露、染み出し・かびなどの現象。
5. 水道に関する国の基準（水道法）に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。

■アフターサービスについて 破損した部分の交換や設置、使用上のご不明点など、本商品に関する事柄は、当社までお問い合わせください。

■商品に関するお問い合わせは 通話料無料 タカギ・コミュニケーションセンター 0120-328-413（ミズは よい水） 24時間電話受付（年中無休）
◎24:00～8:30までは音声ガイダンス受付になります。

株式会社 タカギ
http://www.takagi.co.jp/